

一般社団法人日本保健医療社会福祉学会 2024年度事業報告

社会全体がウィズコロナからポストコロナへ向かう中、2024年度においては、オンライン形式ではあるが、大会、セミナーは多くの参加者のもと開催することができた。そして学会誌などの出版活動、学会ニュース発行・ホームページの更新などの広報活動、さらに関連学術関係団体の会議などの対外活動にも取り組んだ。また前年度に開始した能登半島地震の避難者支援では、対象を東日本大震災の避難者にも広げ、官民協働の形を作りながら活動を続けた。さらに、学会における今後の災害支援体制の整備に着手した。各事業の執行状況は以下のとおりである。

(1) 学術集会・セミナー等の開催

1) 第34回大会の開催

- ・開催日時：2024年10月12日 10時～17時40分
- ・開催方法：ライブオンライン形式
- ・テーマ：生活世界におけるサファリングとケア
～苦悩に向き合うソーシャルワーカーの実践～

・プログラム

10：10～12：10 自由研究発表

13：00～14：40 基調講演

「苦悩の向こうにあるもの：ソーシャルワーカーの未来を見据えて」

講師：浮ヶ谷 幸代（相模女子大学名誉教授）

座長：山本 みどり（本学会理事）

14：50～17：30 シンポジウム

座長：宮崎 清恵（神戸学院大学 総合リハビリテーション学部教授）

シンポジスト

新保 一葉（西陣病院）

西村 睦美（川越病院）

平野 朋美（公益社団法人埼玉県医療社会事業協会理事）

基調講演者 浮ヶ谷 幸代（基調講演から引き続き参加）

- ・参加者：学会員 60名、非会員 49名、学生 6名 計 115名

2) 学会セミナーの開催

- ・日時：2025年3月22日（土）13：00～15：00
- ・開催方法：ライブオンライン開催
- ・プログラム：

「家庭の中でおきる暴力に向きあう」

講師：杉山 春（ルポライター）

- ・参加者：会員 39 名、非会員 49 名、学生 3 名 計 91 名

（２）出版活動

１）学会誌

- ・『保健医療社会福祉研究』第 33 巻の発行
- ・第 32 巻の J-stage 掲載
- ・学会誌査読規定（倫理関連項目）の見直しを行った（第 4 回理事会で承認）
- ・投稿原稿の紙媒体廃止に伴う投稿規定・執筆要領の見直しを行った（第 4 回理事会で承認）
- ・オープンアクセス誌化への対応を検討した
- ・第 17 巻から 28 巻までのホームページ掲載論文が簡易に検索できる方途を検討した。

２）『臨床推論』（仮）の出版準備

実践家の事例収集と分析の方法の検討を進めた。

（３）広報

１）学会ニュースの発行（年 3 回）

- ① 学会ニュース VOL33-1 号 2024 年 5 月 21 日発行
- ② 学会ニュース VOL33-2 号 2024 年 9 月 10 日発行
- ③ 学会ニュース VOL. 33-3 号 2024 年 12 月 17 日発行

２）学会ホームページの充実

- ・ホームページの更新（9 回）
- ・「ソーシャルワーカーのクリニカル・パール」の掲載開始

３）学会案内リーフレットの配布

４）第 30 回大会 DVD の実費頒布案内（残 127 枚）

（４）関連学術団体との連携及び協力（渉外）

１）ソーシャルケアサービス研究協議会への参加

- ・会議への出席

２）日本社会福祉系学会連合への参加

- ・総会への出席
- ・災害アーカイブに『阪神大震災被災地ソーシャルワーク活動報告（中間報告）』が掲載された
- ・大会補助金を申請し、承認された

（５）救急認定ソーシャルワーカー認定機構

１）救急認定ソーシャルワーカー認定機構理事会への参加（2024 年 4 月 10 日、12 月 25 日、

2025年2月20日)

2) 認定事業の実施

第8回認定研修及び試験(2024年11月23-24日)

3) 研修事業の実施

- ・ショートセミナー 第3回(2024年5月21日)、第4回(6月25日)、第5回(7月23日)、第6回(8月31日)、第7回(9月21日)、第8回(10月31日)
- ・第72回日本医療ソーシャルワーカー協会全国大会大分大会講演「救急医療におけるソーシャルワーカーのつどい」(2024年6月15日)
- ・第27回日本臨床救急医学会総会・学術集会 救急認定ソーシャルワーカー認定機構指定講習(2024年7月19日)
- ・第7回アドバンス研修「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドラインと救急医療におけるソーシャルワーク実践」(2025年3月28日)

4) テキスト改定作業への参加

2024年6月に改訂第2版『救急認定ソーシャルワーカー標準テキスト 救急患者支援』(へるす出版)を出版した。

(6) 能登半島地震支援

- 1) 相談案内チラシを作成し、関西エリア配布に向け、行政・マスコミ等への働きかけを続けた。
- 2) 東日本大震災からの避難者も支援対象とし、委員会の名称を「能登半島地震等災害支援活動に関する委員会」とした。
- 3) 行政(京都市、石川県)との接点ができ、避難者への連絡ルートが確保できた。
- 4) 2024年11月17日「関西珠洲会」との接点ができ、つどい開催時、避難者の移動サポート(一部)を担った。
- 5) 2024年11月30日 民間支援者との接点ができ、「復興支援コンサート」をサポートした。
- 6) 上記3) 4) 5)を通して、避難者との個別相談が入りはじめた。
- 7) 2025年3月2日 本学会と京都府社会福祉協議会が『共催』、行政(石川県、京都府、京都市)が『協力』の形をとり、能登半島からの避難者への支援事業を開始した。(「能登きまっしカフェ」第1回)
共催者と行政の打合せ・振り返り(オンライン): 2024年11月27日、2025年1月14日、3月11日
- 8) 学会からは、延11名の会員ボランティアが活動に参加した。
- 9) 本事業開始時に実施したアンケートで活動支援の申し出があった会員(22名)に、適宜報告メールを発信した。発信作業では、学会ボランティア(1名)の協力があつた。
2024年4月27日、7月22日、8月21日、9月1日、11月4日、2025年2月6日、3月12日
(計7回)
- 10) 阪神淡路大震災から現在の活動につながる学会の支援活動が、新聞に掲載された。

『『阪神』経験避難者支援の礎』（京都新聞：2025年1月29日夕刊）

（7）新規事業に関する検討

災害支援体制について、体制の整備（委員会の常設化、総括責任者の設置）を進め、専用寄付金口座開設について協議した。

（8）その他学会運営に関すること

1）理事会の開催

第1回：2024年6月18日（火）20：00～22：15

第2回：2024年7月22日（月）20：00～22：00

第3回：2024年11月13日（水）19：30～21：55

第4回：2025年1月15日（水）19：30～22：00

第5回：2024年2月27日（木）19：30～22：15

第6回：2025年3月26日（水）19：30～22：00

メール稟議①：2024年4月5日（金）

メール稟議②：2024年4月7日（日）

メール稟議③：2024年4月23日（火）

メール稟議④：2024年5月23日（木）

メール稟議⑤：2024年7月29日（月）

メール稟議⑥：2024年8月22日（木）

メール稟議⑨：2024年3月28日（水）

2）2024年度事業計画及び予算書、2023年度事業報告及び決算書を作成した。

3）会費長期滞納者への個別対応を行った。

4）日本学術会議、他学会等との連携（渉外担当の団体は除く）

他学会、他団体より学会事務所に届いた情報は、理事会もしくは事務局で適切に対応した。

5）2024年度通常総会の開催

日時：2024年9月15日（日）10：30～11：05

場所：京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）3階 第3会議室

《会員数（2025年3月31日現在）》

正会員：254名 準会員：4名 名誉会員：1名 合計：259名